

平成30年6月10日（日）

第30回日本肝胆膵外科学会学術集会 市民公開講座

パープルリボンセミナー in 横浜 2018

～チームで支える膵癌の診療～

【開催概要】

日時：2018年6月10日（日）13：30～16：30

会場：パシフィコ横浜 会議センター301

共催：第30回 日本肝胆膵外科学会学術集会、NPO法人パンキャンジャパン

後援：神奈川県、横浜市、日本膵臓学会、NPO法人 横浜臨床腫瘍研究会YCOG

当日は雨風強い悪天候の中、180名を超える市民の皆様が参加してくださり、また、長時間にわたる講演を熱心に聴講してくださった。

パープルリボンセミナーは、「膵臓がん」の早期発見、早期治療、標準治療の重要性の全国的な普及、啓発を目的としたものである。

横浜市内での開催にあたって企画・運営に携わり、市民の皆様への普及・啓発活動に大きく貢献した。



会場風景



開会あいさつ



パネルディスカッション



集合写真

平成30年6月25日（月） 第24回臨床研究を考える集い（YCOG報告会）

【開催概要】

日時：2018年6月25日（月）19：30～21：00

会場：崎陽軒本店 6階会議室

センター病院 千田先生より結腸癌NETに関する後ろ向き・多施設共同研究の提案がなされた。SM<2000 μ m でLN転移がないことを証明することが目的。研究は了承され、IRB通過を目指すこととなった。各YCOG研究の進捗状況の報告を行った。

平成30年10月3日（水） 第25回臨床研究を考える集い（YCOG報告会）

【開催概要】

日時：2018年10月3日（月）19：30～21：00

会場：TKP 横浜ランドマークタワー 25階会議室

特別講演：国立がん研究センター東病院

消化管内科科長 吉野孝之先生

「全国規模のがんゲノムスクリーニングに基づくがんの
Precision Medicine 実現に向けた取り組み」

各YCOG研究の進捗状況の報告を行った。

特別講演では吉野先生よりPrecision Medicineの最先端についての講演をしていただいた。

平成31年1月30日（水）

第26回臨床研究を考える集い（YCOG報告会）

【開催概要】

日時：2019年1月30日（月）19：30～21：00

会場：崎陽軒本店 6階会議室

特別講演：京都府立医科大学外科学教室 消化器外科学部門 教授 大辻英吾先生
消化器癌に対する腫瘍マーカー研究～過去から現在～

新規研究：

直腸癌における術前MRI画像診断のデータベースの構築 柿添学先生

腹腔鏡下噴門側胃切除ダブルトラクト法の胃全摘術に対する体重・栄養面での優越性を検証する前向き観察研究 佐藤渉先生

いずれも了承され、IRB通過を目指すこととなった

各YCOG研究の進捗状況の報告を行った。

特別講演では大辻先生より胃癌を中心とした腫瘍マーカーについての講演をしていただいた

平成30年7月21日(土)
第41回術後代謝栄養研究会
主題：感染性合併症の予防・対策

【開催概要】

日時：2018年7月21日(土) 14:00～17:00

会場：TKP ガーデンシティPREMIUM みなとみらい5階会議室

一般演題：4題

特別講演：新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器外科学分野 若井敏文先生
がん治療革命：腫瘍外科学とPrecision Cancer Medicine
－次世代を担う若手外科医の育成－

一般演題では日頃より悩まされる術後感染性合併症についてのディスカッションを行い、後半の特別講演では若井先生にPrecision Medicineの最前線についてと、これらの研究を若手外科医にどのようにやってもらっているか、新潟大学の現状についてお話をいただいた。



会場風景



会場風景



特別講演 若井敏文先生



平成31年2月2日（土） サージカルセミナー2019 in 横浜

【開催概要】

日時：2019年2月2日（土）10：00～16：30

会場：神奈川県 横浜市立大学附属病院 シミュレーションセンター

主催：特定非営利活動法人 横浜臨床腫瘍研究会YCOG

協賛：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

本セミナーに賛同していただいた企業：日本イーライリリー株式会社

立春を過ぎてもなお厳しい寒さが続く中、当日は晴天に恵まれ、約60名もの参加者でセミナーは賑わった。

横浜市内・神奈川県内の外科医師が中心となり参加研修医の講師を務め、中心静脈カテーテル挿入、皮膚の縫合体験、手術シミュレーション、鏡視下結紮体験、ロボット手術シミュレーション、内視鏡シミュレーション、超音波シミュレーションを行った。

今年の『サージカルセミナー2019 in 横浜』は参加研修医および参加スタッフにとってとても有意義なイベントとなった。

【参加人数報告】

参加研修医および参加スタッフ人数：61名

参加研修医：28名 スタッフ医師：23名 その他スタッフ：10名



会場風景



中心静脈カテ挿入



豚皮での皮膚縫合



集合写真

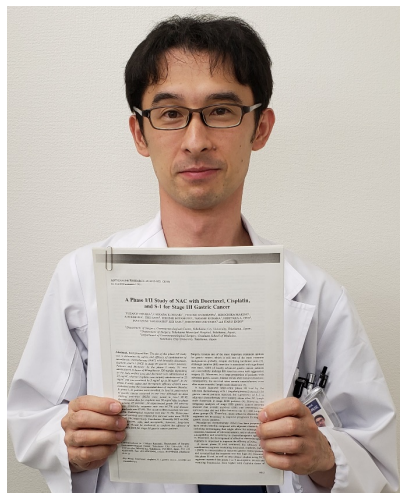
YCOG 1013

A Phase I/II Study of NAC with Docetaxel, Cisplatin, and S-1 for Stage III Gastric Cancer.

Tanaka Y, Kunisaki C, Izumisawa Y, Makino H, Kimura J, Sato S, Miyamoto H, Kosaka T, Ono HA, Takahashi M, Sato K, Akiyama H, Endo I.

Anticancer Res. 2018 Oct;38(10):6015-6021.

平成19年卒 田中優作先生



YCOG1013論文文化を経験して

YCOG1013試験は進行胃癌術前化学療法としてのDCS療法の安全性・有用性を示した試験で、胃癌治療を行う我々にとりとても大事な試験でした。光栄にもその論文執筆を担当させていただき、Anticancer Researchに掲載されました。YCOGの先生方やスタッフにご尽力頂き、論文作成の際にも御指導頂きまして論文掲載までたどり着くことができ、大変感謝しております。これからもYCOG発展に貢献できるよう努力していきます。

横浜市立大学附属市民総合医療センター
消化器病センター外科 田中優作

YCOG 1207

Randomized phase II trial of the prophylactic use of celecoxib for the prevention of oxaliplatin-related

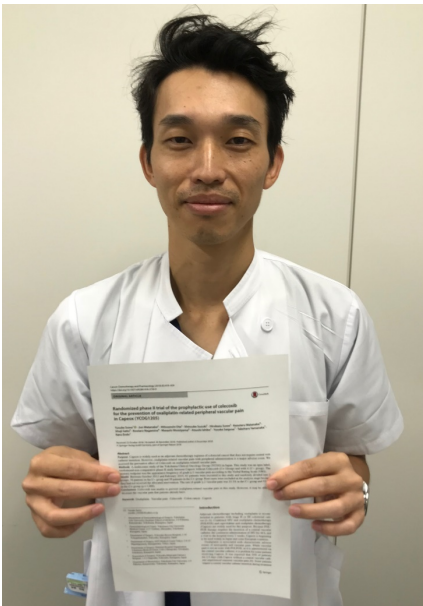
peripheral vascular pain in Capeox (YCOG1205).

Suwa Y, Watanabe J, Ota M, Suzuki S, Suwa H, Watanabe K, Saito S, Nagamine K, Momiyama M

Ishibe A, Saigusa Y, Yamanaka T, Endo I.

Cancer Chemother Pharmacol. 2019 Mar;83(3):419-424.

平成19年卒 諏訪雄亮先生



YCOG1205試験の論文を執筆をさせていただき Cancer Chemotherapy and Pharmacologyに掲載されました。オキサリプラチン投与時の血管痛に対しセレコキシブの有用性は今回の試験では示せませんでした。YCOG施設の多くの先生、スタッフのご協力あつての結果をまとめさせていただき皆様に大変感謝しております。今回執筆させていただいたことで改めて臨床研究に興味を沸き、また積極的に参加しひとつの結果を出す大切さを学びました。今後もYCOGの発展に貢献できればと思います。

横浜市立大学附属市民総合医療センター
消化器病センター外科 諏訪雄亮

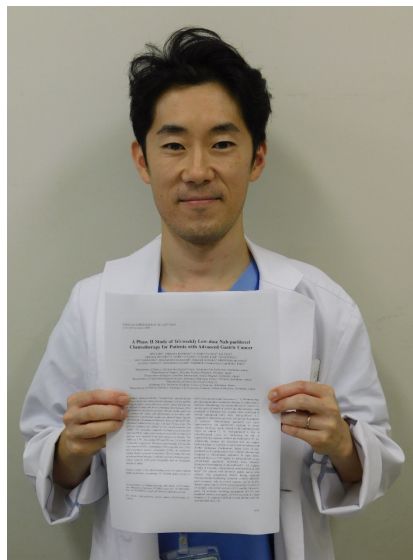
YCOG1405

A Phase II Study of Tri-weekly Low-dose Nab-paclitaxel Chemotherapy for Patients with Advanced Gastric Cancer.

Sato S, Kunisaki C, Tanaka Y, Sato K, Miyamoto H, Yukawa N, Fujii Y, Kimura J, Takagawa R, Takahashi M, Kosaka T, Akiyama H, Saigusa Y, Taguri M, Yamanaka T, Endo I.

Anticancer Res. 2018 Dec;38(12):6911-6917.

平成19年度卒 佐藤渉先生



YCOG1405論文文化を経験して

この度YCOG1405試験の論文執筆を担当させていただき、無事Anticancer Researchに掲載されました。進行再発胃癌に対する低用量nab-paclitaxelの安全性・有用性を示した研究でしたがABSOLUTE試験、RAINBOW試験と次々と大規模臨床試験の結果がpublishされ症例集積も厳しい中、YCOGの先生方やスタッフのご尽力によりなんとかpublishまでたどり着いたことを大変感謝しております。今後ともYCOGの発展に貢献できればと思います。

横浜市立大学附属病院 消化器外科 佐藤渉